

第1位は加藤文枝さん

第8回ビバホールチェロコンクール



過去最多の56人が出場

ビバホールチェロコンクールは、世界でも数少ないチェロ単独コンクールで、若手チェロ奏者の登竜門と位置づけられるほどになりました。今回は、過去最多の56人が出場。7月20日に行われた本選では、予選を通過した8人が持てる力を存分に発揮して演奏しました。入賞者は次のとおり。(敬称略)

- ▼第1位／加藤文枝(東京都台東区)
- ▼第2位／ヤコブ・シユパーン(ドイツ)
- ▼第3位／藤井 泉(東京都武蔵野市出身、ドイツ在住)
- ▼第4位／中 実徳(東京都調布市)
- ▼第4位／伊藤文嗣(神奈川県藤沢市)
- ▼第6位／ヤン・ジウク(韓国出身、ドイツ在住)
- ▼特別賞／矢口里菜子(東京都西東京市)
- ▼特別賞／森山涼介(東京都台東区)



「とても驚きました」

見事1位に輝いた加藤文枝さんは、現在、東京芸術大学の音楽学部器楽科に在学中の21歳。ビバホールチェロコンクールには第6回から3回連続で出場されています。

結果発表後には、とても驚いた表情で「自分の中では納得できる演奏ではなかったのですがとても驚いています。今後数多くのステージを経験して、お客さんを納得させられる演奏をしていきたい」と喜びと抱負を語りました。

なお、加藤さんは、来年養父市と東京で開催される第1位受賞記念チェロリサイタルで演奏されます。

イベント支えた130人の市民ボランティア

このコンクールの大きな特長は、市民が担うイベントということ。ビバホールチェロコンクール運営委員会で公募した市民ボランティア130人が、受付や会場案内などを務めコンクールを支えました。

受付を担当された方は「第1回からボランティアとして携わっていますが、回を重ねるごとにコンクールを支えている実感が強くなっています。受付では、出場される方がリラックスして臨めるように心がけています」と話していました。



受付を担当する市民ボランティア